



夫婦でわさび作り



すみ農園

隅 望さん (29 歳) 本郷町

美穂さん (30 歳)

農業大学校卒業後、二人で切りバラ就農をめざし、県内や滋賀県のバラ農園で研修生として指導を受けました。

その後、バラ作りの傍ら、錦町のわさび農家でわさび作りのノウハウを学びました。

ハウスわさびの栽培とバラ作りを始めて約8年、試行錯誤しながら頑張っています。



愛犬
マロン



土作り わさびは土作りが一番重要で、わさび作りに適している土地を見つけるのに約三年かかりました。
観察 わさびは暑さに弱く、若苗の時は寒さ(霜)にも弱いので、毎日天気に注意をしています。日の出にはハウスを開け、わさびの生育状態を観察し、土の乾きぐあいを見ながら水やりをします。わさび作りは毎日の観察がとても重要な仕事なので、お互いが健康であることが一番です。
収穫 播種から収穫まで約一年半かかります。花わさびは料理のつまに、茎は練りわさびの原料として出荷しています。

休暇がとれたら?

農業クラブの仲間と農業の勉強(観察)をしたいと思いますが、一日休みがあれば、二人で旅行がしたいです。でも、忙しく、なかなか、実現できません。

将来の夢は?

農業をめざしている若者を研修生として受け入れ、就農を支援したいです。

これから、農業をめざそうとしている若い人へ

夢をあきらめないで!

インフォメーション

男女共同参画社会とは5つの「や」

- やわらかい社会**
柔軟な発想、多様な個性を柔軟に受け入れる
- やりたいことができる社会**
男女がともに個性、能力を発揮できる。さまざまな生き方、働き方ができる
- やり直しのきく社会**
再チャレンジができる、さまざまな生き甲斐をみつけれれる
- やすらぎのある社会**
ワーク・ライフ・バランス
- やさしく楽しい社会**
男女が分かり合い、優しくなれる。男女一緒に楽しくやれる

「家庭の日」とは
1955年、鹿児島県鶴田町で生まれた「家庭の日運動」は1966年5月の青少年育成国民会議の発足と同時に毎月第3日曜日を「家庭の日」として定め、国民運動として全国的に展開されることになりました。
家族みんなが顔をそろえ、子どもたちの健やかな成長を願うこの運動は、男女共同参画社会の実現のためにも、大切な取り組みです。

DVDの貸し出しをしています
『ワーク・ライフ・バランスを知っていますか?』
～働くオトコたちの声～

ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介しています。

配偶者・パートナーからの暴力(DV)相談窓口

総務課男女共同参画室 ☎29-1155 (相談専用)
山口県男女共同参画センター ☎083-901-1122

岩国警察署 ☎24-0110
岩国西警察署 ☎83-0110
(岩国西警察署は今年4月1日付で岩国警察署に統合されます。)
※各総合支所地域振興課でも相談に応じています。

皆さんの声をお待ちしています

「さくら21」は、市民のみなさんと共に、男女共同参画社会を実現するためにさまざまな情報を収集し、提供する情報紙です。
ご意見・ご感想・取材してほしい内容・情報など『男女共同参画のための情報紙編集委員会』までお寄せください。

編集後記

100年に一度の不況の到来と言われています。こんなときこそ、身の回りのできることから少しずつ変えてみませんか?きっとより良い社会になるはず・・・。
“カエル! ジャパン”
ちょっと気にかけてくださいね。

編集委員一同

問い合わせ先 岩国市の男女共同参画のための情報紙編集委員会 TEL0827-29-5030 FAX 0827-21-3337

さくら21 6号 2009(平成21)年3月1日発行

編集 岩国市の男女共同参画のための情報紙編集委員会

〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号

発行 岩国市総務部総務課男女共同参画室

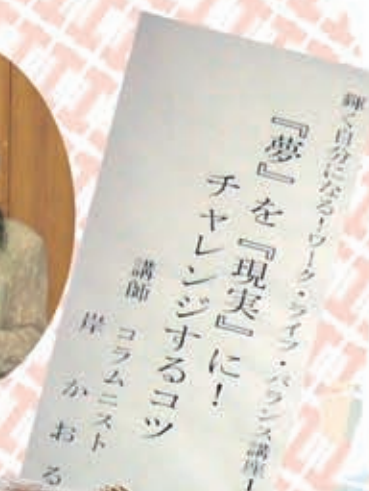
TEL 0827-29-5030 FAX 0827-21-3337

岩国市男女共同参画のための情報紙

さくら21

2009・春
6号

コラムニストの岸かおるさんとボエムピクチャーアーティストのMIKAKO(村中美香子)さんを講師にお迎えして、「輝く自分になる! ワーク・ライフ・バランス講座」を開催しました。



今この瞬間に
輝く自分になる! 岸かおる



10月21日



10月30日

特集

見つけよう!

私色のワーク・ライフ・バランス

みなさん、ワーク・ライフ・バランスという言葉に耳にしたことはありませんか？
「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）は男女を問わず、すべての人にとって重要なテーマです。自分に合った働き方・生き方をめざして「ワーク・ライフ・バランス」について考えてみませんか？

見つけよう！

私色の ワーク・ライフ・バランス



あなたのワーク・ライフ・バランス度は？

- ☐ 仕事が忙しくて、家族とゆっくり話す時間がない
- ☐ 家族との共通の話題が減った
- ☐ 有給休暇を取ることに抵抗がある
- ☐ 休日の外出がめんどろになった
- ☐ ものごとに集中できない
- ☐ 仕事や家事を人に頼むことが不安だ
- ☐ 朝起きたときに疲れがとれていない
- ☐ 最近、近所の人と挨拶以外の会話をしたことがない
- ☐ 地域でのゴミ回収日や分別のルールを知らない
- ☐ 子どもの友達や担任の先生の名前を知らない

チェックが多い人ほど、無理をしている可能性があります。
仕事もプライベートの時間も充実したいとがんばりすぎてはいませんか？今一度生活全体を見直してみることが必要かもしれませんね。
自分に合ったバランスになるように、まずはできることから始めましょう。

WHY? なぜ、ワーク・ライフ・バランスが必要なの？

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児・近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことのできないものであり、その充実感があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

しかしながら、現実の社会には

- ・安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない
- ・仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない
- ・仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。

これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。

カエル！ ジャパン Change! JPN

とは
平成 19 年 12 月、政財界・労働界・地方公共団体の代表者によって「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定されました。

国においては「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための国民運動を一層効果的に推進するため、「カエル！ ジャパン」キャンペーンを実施しています。

ひとつ「働き方」を変えてみよう！

カエル！ ジャパン Change! JPN

自分にとって心地いい働き方が
周りのみんなにも心地よく響くといひね。
ひとりひとりが、仕事も、人生も、めいっさいのしめる
そんな会社や社会になるといひね。

たとえば「会議はみんなで 1 時間と決めてみる」とか
「朝、To Do リストを作ってみる」とか
・・・働き方を変えることで
プライベートをたのしむ時間をつくり出す。
社長も、ベテランも、新人も、
サラリーマンも、ワーキングマザーも・・・
「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」
の実現に向けて、仕事のやり方を何かひとつ、
今日から変えてみませんか？

カエル！ ジャパンの世界を想像してみると

- ◆働く時間の使い方を「フリカエル」
- ◆仕事以外の、大切な時間に「カエル」
- ◆今と未来、自分と周囲を「カンガエル」
- ◆家に「カエル」人&仕事に「カエル」人

(<http://www8.cao.go.jp/wlb/>)

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の認知度



(平成 20 年 6 月「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する特別世論調査」から)

平成 20 年度男女共同参画講座
「男性のためのチャレンジ講座」

～ママにおくるパパランチ!!～

ようこそ!!新米パパの チャレンジ・クッキング

平成 20 年 11 月 16 日 (日)
「簡単に作れる。栄養満点の Pasta!」
岩国市保健センター 調理室



メニュー

- ☆きのこのパスタ
- ☆電子レンジでスピードサラダ
- ☆岩国レンコンの元気スープ
- ☆牛乳ゼリーの黄桃ソースかけ

【参加者の声】

☆少しだけ、自分でもたまには料理を作ってみようという気になりました。
☆栄養満点で、美味しい料理だったのでとても参考になりました。また家で
作ってみたいです。これを機会に夫も料理に参加してくれそうです。